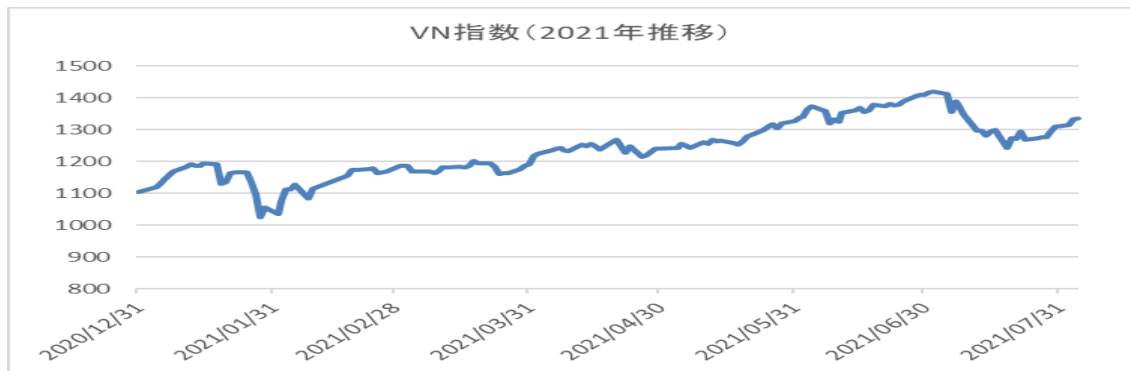


投資家の皆さまへ

最近のベトナム株式市場と今後の見通し

7月のベトナム株式市場は、軟調な相場展開となりました。南部16省とハノイにおいて、新型コロナウイルス感染者数の増加が続いていたことで、ファム・ミン・チン首相の指示により、南部19省市が一斉に首相指示16号に基づく最も厳格な社会隔離措置を開始しました。既に指示16号基準の社会隔離措置を全域で実施していたホーチミン市と他2省を合わせ、南部19省市が実質的なロックダウン（都市封鎖）となったことで、経済活動が減速するとの見方から、株式市場は下落しました。7月末のVN指数は前月末比6.99%安の1,310.05ポイントで引けています。1月～7月のベトナム3市場合計の1日平均売買代金(ADTV)は、前年同期比では2億5千万ドルから4倍増加し10億ドルになりました。7月、外国人投資家は231百万ドルの買い越しとなっています。8月に入り、株式市場は反発の動きを示しています。本年度の予想株価収益率（PER）が一時約14倍に落ち込んだことで外国人投資家の買いが継続しており、8月4日現在、前月末比24.69ポイント高（1.88%高）の1,332.44で引けています。特にピングループがメッセンジャーRNAのワクチンを製造するとの好材料を背景に、市場を牽引しています。



出所：ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが作成。上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

■ 今後の見通し

弊社はベトナム株式市場について強気の見方をしており、7月の下落は健全な調整と見ています。これからの展開としては、ワクチンの接種が今後早まることが予想されています。すでに、7月から8月初旬にかけて、1,300万回分のワクチンが調達されています。加えて、ベトナムの大企業であるピングループは、米新興バイオ企業アークトゥルス・セラピューティクスが開発した新型コロナウイルス用mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチンの生産に向けた製造技術移転契約を結んだと発表しました。アークトゥルスは自社で開発したワクチン「ARCT-154（LUNAR-COV19）」の製造ライセンスをピングループ傘下の製薬企業ビン・バイオケア・バイオテクノロジーに独占供与します。ピングループは首都ハノイ市内ですでに工場建設に着手しており、早ければ2022年初頭にも同ワクチンを国内に供給する計画です。株式市場は、良好な企業業績やマクロ経済指標に加えて、本年度の予想株価収益率（PER）が約15倍台と他市場と比較し割安なことから、今後更に大きく上昇が見込めると考えています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。